



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
http://www.tph.gr.jp/

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

「急性期病院におけるPFMの導入～佐久医療センターの経験から」

地域医療連携事業講演会（がんコンソーシアム）開催報告

平成30年6月21日（木）佐久総合病院 副統括院長 西澤延宏先生をお招きし、「急性期病院におけるPFM（Patient Flow Management）の導入～佐久医療センターの経験から～」をご講演いただきました。すでに周知のことと思いますが、今回の診療報酬改訂で入院時支援加算されたことにより、PFMがより注目を浴びることになりました。佐久総合病院ではそれ以前に先進的にPFMを導入しており、実績もあげられております。西澤先生はPFM立ち上げの中心となられた人物であります。当院でもPFM部門の立ち上げるにあたり佐久医療センターを見学させていただいた際に、西澤先生より多くのヒントやノウハウをいただいたことがご縁で、この度ご講演いただく運びとなりました。講演内容は以下の通り。



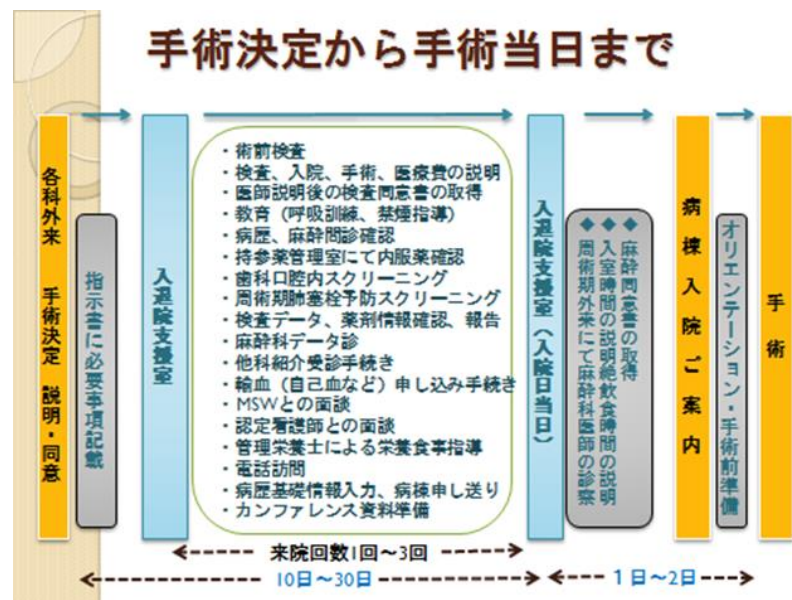
昨今、医療制度改革による病院の機能分化やDPCの影響により、急性期病院が急性期病院としてあるためには、慢性的な人手不足に加え、介護力や経済的問題、ADLの低下など退院を阻害する要因を有する患者が増加している状況でも、在院日数を短く、病床利用率を下げることなく、でも重症度の高い患者を多く受け入れ、新規入院を増やすことが必要条件といえる。そのため、高度な医療やケアの提供はもちろん、説明や記録業務も精密さが求められかつ膨大となり、そのしわ寄せは現場の医師や看護師の負担として表れてくる。そこで当時の佐久総合病院では、全国に先駆けてPFMの導入をした。

PFMとは、予定入院患者の情報を入院前に把握して問題解決を図ることで入院前から退院後までの流れをマネジメントすることを意味し、外来の段階で医療資源を集中投入してリスクを減らし、効率化を図るものである。

佐久医療センターでは入退院支援室（患者サポートセンター内）がPFMの中心として、全ての予定入院患者に対し、専任の看護師及び医師事務作業補助者（DA）が主となり、標準化した入院・手術の説明やそれらに関するマネジメントを行っている（右図）。麻酔科医や管理栄養士、口腔ケアチームなど専門部署とも連携し、患者・家族が入院・手術・検査についてより理解でき、満足度の向上を図り、安全性の確保、安心な療養生活、日常生活への早期回復ができるよう入院前からの質の高いチーム医療を展開している。

従来、外来診察室や病棟で行われていた業務が、入院前に患者サポートセンターに集約されたこと

手術決定から手術当日まで



により、医師は必要最低限の指示と承認を除き、パス・検査の説明やオーダー入力など事務処理や内服薬の確認や検査値の異常のチェックといったあらゆる業務が削減され、本来の医師業務だけに専念でき、多くの医師が望む本当の働き方改革が実現できた。外来・病棟看護師も情報収集や事務業務が減り、患者のケアに使う時間が増え、時間外業務も減り、効率性・安全性・生産性が向上した。

経営面においても、術前中止薬内服などによる手術の中止が減少し、在院日数も短縮された。日曜入院が容易となり月曜日手術が増加するといった効果もみられた。

ただ、PFMを導入するにあたっては、医師個人の特別ルールは排除し、説明・オーダーすべて標準化することが必須で、病院全体のコンセンサスを得るなど、病院をあげての取り組む姿勢・体制が必要となる。

繰り返しになるが、今後の急性期病院は、経営の維持と現場スタッフの負担軽減を図りながらも、医療の質向上、効率化を進めるため、多職種で連携しながら、PFMを推進していくことが必要となる。以上

講演後のディスカッションでは、佐久総合病院でPFMを導入したときのスタッフとのやりとりなど、いきさつを赤裸々にお話いただき、あたらめてリーダーシップと各専門職種が職責を果たすことの重要性を感じることできた非常に有意義な講演会となりました。

西澤先生お忙しい中、遠方よりご来県いただきありがとうございました。

E-ナース院内研修のお知らせ



① 『周術期の看護～合併症を予防するために～』

講師：谷口 英喜 氏（済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長）

日時：平成30年7月18日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

② 『Dr大島一太の心電図講座シリーズ 胸痛、息切れの心電図を読む』

講師：大島 一太 氏（大島医院 院長）

日時：平成30年8月1日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『NIPPVについて』

担当：集中ケア認定看護師 殿谷 淳子

日時：平成30年7月13日（金）17:30～18:30 場所：当院3階 講堂

② 『救急看護技術（シミュレーション）』

担当：救急看護認定看護師 松本康代・長井貴司

日時：平成30年7月20日（金）17:45～18:45 場所：当院3階 リハビリ室

③ 『子どもの急変対応・挿管介助 新生児/小児シミュレーション学習』

担当：小児救急看護認定看護師 諏訪知穂 ・ 新生児集中ケア認定看護師 小川美和

日時：平成30年7月27日（金）17:45～18:45 場所：当院3階 リハビリ室

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

平成30年5月は、地域医療支援病院

紹介率 84.2% 逆紹介率 171.1% でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。